

涙と笑顔がたっぷりの時間 全国表彰式

平成30年11月24日(土)。
平成30年度「小さな親切」運動全国表彰式が
開催されました。その様子をご紹介します。

55年間の歴史を重ねて

今年度の全国表彰式は、三連休の中日となりましたが、好天にも恵まれ、北海道から沖縄まで全国から330名の方にお越しいただきました。開会前から会場は、熱気でいっぱいです。山口県からいらつしやった、作文コンクール入賞者の保護者は、「こんなに盛大な表彰式とは思っていませんでした」と話していました。

運動本部の鈴木恒夫代表が「昭和38年、前回の東京オリンピックの一年前から、この運動は始まりました」と運動の歴史をまじえながら開会の



あいさつをする内閣府大臣官房総務課
富永管理室長

あいさつを行い、いよいよ式が始まりました。

ご来賓の富永健嗣・内閣府大臣官房総務課管理室長も、ご祝辞の中で「55年の長きに渡って活動をされている、皆様の熱意とご努力に敬意を表します」と述べられ、継続することの意義に触れられました。

式はNHKアナウンサーの石井麻由子さんの司会で進行。最初の表彰は、親切運動に長くご尽力いただいている方に贈られる内閣官房長官賞です。5名の方が壇上に上がり、内閣府の富永管理室長より記念の楯と表彰状を受け取りました。

続いて、「小さな親切」運動賞の表彰に移ります。今年度の大賞の「小さな親切」運動福島県本部は、毎年



「小さな親切」運動大賞に輝いた福島県本部

多くの子どもたちを「小さな親切」実行章に推薦。東日本大震災以降は、県内の復興支援に力を入れ、運動本部が行う被災地域での工作教室や、声優さんによる紙芝居上演の開催にご協力くださるなど、終始変わらぬ子どもたちへの温かな姿勢が今回の大賞受賞に結び付きました。
福島県本部の坂井道夫・東邦銀行常務取締役は、

と、今後の意気込みを語ってくれました。

また、この表彰式のアトラクションに賛助出演してくださっている、(有)ケツケコーポレーションが「小さな親切」運動賞を受賞。同社所属の声優さんが学校で紙芝居上演を行う、山陰本部の独自事業「紙芝居キャラバン」に協力し、同本部より推薦を

受けました。
「小さな親切」実行章の受章者は、のべ588万人に達しました。当日は、作文コンクール応募作品の中から実行章に推薦された、千葉県の柳澤亜梨沙さんがお越しくださいました。最初は緊張の面持ちでしたが、受章後は笑顔でご家族と写真を撮る姿が印象的でした。

あまりに上手な朗読に、場内が静まり返る

次に、第34回「小さな親切」はがきキャンペーンの表彰です。今年度は若い方からの応募も多く、親切の内容も多岐に渡りました。

大賞に輝いた茨城県の篠原凜久さんは、16歳の高校生。残念ながら当日は学校の行事と重なり欠席でしたが、作品は久嶋博久・福井県本部署局長が朗読。久嶋さんは、福井放送の元アナウンサーということもあり、その朗読はさすがの一言でした。

その余韻の残る中、作文コンクールの表彰へ。今年度の応募総数は4万6,323編。ふと受賞者の席を見ると、初めて会った者同士なのに、楽しそうに会話をしている姿があり心が和みました。

驚かされたのは、内閣総理大臣賞の田淵伶愛菜さん、文部科学大臣賞の岩見涼さんの作文朗読です。相当練習を重ねたのでしょうか、見事な朗読で、今すぐに、声優やアナウンサーとしてデビューできそうです。参加者の中には、涙を浮かべながら聞き入っている方もいらつしやいました。

受賞者の中には、2年連続で上位入賞された方もいらつしやいました。作文能力に加え、人を見やる姿勢が身に付いているのでしょうか。受賞した子どもたちは、将来スマホばかり見て、周りに気を配ることができない大人にはならないだろうな、という感想を持ちました。



休憩を挟んで、ケツケコーポレーション所属の声優さんによる「耳と心で感じるリーディングドラマ」。上演された2作品は、どちらも今年度の入賞作品が原作となっています。プロの演出と技術にかかると、作品には新たな説得力と魅力が生まれます。内閣総理大臣賞の田淵さんの作文は、原作にも選ばれ「自分が書いた」ものなのに、感動して涙が出ました」と話してくれました。

上演後の声優さんたちのサイン会も大賑わいで、笑顔が多く生まれた表彰式となりました。
参加してくださった皆様、この場を借りて御礼申し上げます。



作文朗読後インタビューを受ける田淵さん(左)と岩見さん(右)



はがきキャンペーン大賞作品を朗読する久嶋事務局長



平成30年度「小さな親切」運動 全国表彰式

日時●平成30年11月24日(土)
12:30~15:30
会場●霞が関ビル35階
東海大学校友会館・阿蘇の間
主催●公益社団法人「小さな親切」運動本部
後援●内閣府・文部科学省・NHK

【プログラム】

表彰●内閣官房長官賞
「小さな親切」運動大賞
「小さな親切」運動賞
「小さな親切」実行章
第34回「小さな親切」はがきキャンペーン
第43回「小さな親切」作文コンクール
アトラクション●耳と心で感じるリーディングドラマ

受賞おめでとうござります

内閣 官房長官賞

◆澤田隆一さん
(北海道本部副代表／
株式会社アプロス代表取締役)
「身に余る光栄です。あ
いさつと笑顔を見せると
いうことは大切だと思っ
ているので、今日も大き
な声で答える子どもたちを見て、とてもいい
気持ちになりました」

◆植草 完さん
(千葉県本部副代表／植草学園大学附属高等学校校長)
「学校の建学の精神である、徳育を教育の根
幹としています。人の
ことを思いやり、役に



立つことに喜びを持つということは、この運
動が始まった当初より、現在の方が必要だと
感じています」
◆戸田アイ子さん
(広島県府中支部前代表)
「親切運動に関わり、いろいろな役をさせて
もらいました。いいことも悪いこともあったけ
れど、協力してくださる方が多かったので続
けてこられました」

◆江夏 由宇子さん
(宮崎県都城支部副代表)
「この活動でいろいろな方と出会うことがで
き、周りの方のおかげでこの賞
をいただけたと感謝しています
家庭にもこの運動が浸透して欲
しいと思っています」

◆長谷川 清一さん
(特任推進委員／株式会社コスモプラン
代表取締役)
「親切運動は日本に必要ですし、
世界に誇れる活動だと思います
今度は海外にも広めたい。また、
日本の発展の裏にこういう活動
があることを知ってもらいたい
ですね」

「小さな親切」 運動賞 【団体の部】



今回の受賞は、本当に光栄で
嬉しく思います

子どもたちは、
自分が忘れてしまった感性を
思い出させてくれます

◆有限会社ケッケコーポレーション
(代表取締役…難波圭一)
アトラクションでは、所属の声優さんら
で「耳と心で感じるリーディングドラ
マ」を上演。
◆千葉県 柳澤 亜梨沙さん
今回のリーディングドラマの
原作となった作文には、号泣しました。
イメージが刺激されて、
今思い出しても泣きそうです

「小さな親切」 実行章



とても嬉しいです。
これからも親切を忘れない
ようにしたいです

※なお、「小さな親切」運動大賞・運動賞の受
賞者の活動内容の詳細は「小さな親切」誌秋号
(No.512)でご紹介させていただきました。

入賞作品紹介！

第34回「小さな親切」はがきキャンペーン「大賞」

アイスクリームで出会えた姿

茨城県 篠原 凜久(16)

今年の夏休み、三歳の従兄弟とお祭りに
行って、アイスクリームを食べていたときのこ
とである。

お祭りは非常に混雑していて、歩きながら
食べていた従兄弟が、二十歳前後の男性にぶ
つかり、男性の服にアイスクリームをつけて
しまった。まだ三歳だったので、自分のアイ
スクリームがなくなったことで悲しくなり、泣
き叫んでしまった。

悪いのはもちろんこちらなので、僕は謝罪
しようとしたのだが、男性は急いどこかに
行ってしまった。申し訳なくて探そうと思っ
たが、従兄弟が泣き止まないで「どうしよ
う……」と、いっぱいいっぱいになっていたと
きに、あの男性が走って戻ってきた。

男性は泣いている従兄弟に笑顔で、
「ごめんね。僕がまちがってアイスクリーム
食べちゃった。新しいアイスクリームを買っ
てきたから食べてね」
と渡してくれた。

従兄弟も泣き止み、嬉しそうにアイスク
リームを食べ始めた。僕は男性にお礼を告げ
て、謝罪をしたところ、
「気にしなくていいよ。小さい子のお世話は

大変だね」
と、とても優しく言ってくれ、本当に心が透
き通るような気持ちになった。

僕は、「男性のあの優しい行動が、三歳の従
兄弟にも理解できるのかな」と、男性が去っ
ていく後ろ姿を、手を繋いで見ていた。
従兄弟がアイスクリームをおいしそうに食
べるのを見て、感謝の気持ちがこみあげてくる
本当にありがたう。

【審査員より】

夏祭りが舞台のこの出来事には、年齢
の違う三人の男子が登場します。簡単に
説明できませんが、意外と微妙な関係性
です。特に、作者は真ん中の年齢。幼子
を気遣いながらも、年長者に詫言なけれ
ばならない立場です。けれど、相手の方
は驚くほど迅速に、次の行動に移ってい
ました。たぶん、この方にとっては、小
さな子を悲しませることの方が重大事
だったのでしょう。作者が、少し年上の
青年に抱いた感謝と尊敬の気持ちが伝
わってきます。

【内閣官房長官賞】

- 北海道 澤田隆一
「小さな親切」運動北海道本部副代表
- 千葉県 植草 完
「小さな親切」運動千葉県本部副代表
- 広島県 戸田アイ子
「小さな親切」運動府中支部前代表
- 宮崎県 江夏 由宇子
「小さな親切」運動都城支部副代表
- 茨城県 長谷川 清一
「小さな親切」運動特任推進委員
- 福島県
「小さな親切」運動須高支部
(代表 北村清士／東邦銀行取締役頭取)
- 「小さな親切」運動賞
【団体の部 3団体】
- 栃木県
「小さな親切」運動栃木支部
(代表 大木洋三／元栃木市教育委員)
- 東京都
有限会社ケッケコーポレーション
(代表取締役 難波圭一)
- 長野県
「小さな親切」運動須高支部
(代表 野平芳一／樹地域総合計画代表取締役)

- 個人賞 2名
- 岩手県 磯崎 孝男
(個人賞)
- 香川県 川崎 登
(さぬき市寒川支部前事務局長)
- 個人賞 5名
- 千葉県 鎌谷谷市立中部小学校 1年
柳澤 亜梨沙
- 広島県 呉市立広小小学校 4年
高原 瑠梨
- 福岡県 行橋市立今川小学校 2年
福山 凜校
- 福岡県 行橋市立今川小学校 3年
福山 乃彩
- 東京都 福生市立福生第二中学校 1年
八木 翔馬

- 「小選」 20名
- 秋田県 今野 芳彦 (1)
- 山形県 岸 明里 (23)
- 宮城県 中武 智子 (60)
- 栃木県 叶内 理沙 (23)
- 東京都 北川 晶子 (41)
- 東京都 松尾 結実 (16)
- 千葉県 朝倉 和香奈 (16)
- 千葉県 宗廣 香苗 (47)
- 神奈川県 柳澤 ユカ (35)
- 長野県 前田 五十鈴 (64)

